

令和4年度 第2回公立鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 令和4年11月10日(木) 10:00～11:32
- 場 所 本部講義棟3階 大会議室(Webexによるオンライン会議)
- 出席者 江崎信芳委員、足羽英樹委員、宇佐美誠委員、片木威委員、田中仁成委員
田村文男委員、小林朋道委員、矢野順治委員、遠藤由美子委員、今井正和委員
[10名/12名]
- 欠席者 尾室高志委員、吉田高文委員

【議事】

1 前回議事要旨の確認

原案のとおり承認された。

2 協議事項

(1) 令和5年度における重点取り組み事項について

事務局から、令和5年度における重点取り組み事項について説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・重点取り組み事項(1) 教育のデジタル時代への対応について、文系の学生にも数理・データサイエンス・AI等についてわかりやすく教えることも大切だが、デジタル化時代の様々な課題を倫理的、法的、社会的視点で考えていくという、文系ならではのデジタル社会への貢献があるので、そのような内容を授業等に取り入れてはどうか。
- ・重点取り組み事項(1) 教育の社会人リカレント教育の導入について、大学院レベルの場合は、教員の研究指導などある程度遠隔を取り入れることができるような、制度やノウハウの蓄積が必要となってくるのではないかと。遠隔を取り入れることにより、遠方に住む人の受験につながる見通しになるのではないかと。また、学部レベルでは、一般の学生と一緒に授業を受けることを期待してリカレント教育を受ける人もいるため、学部か大学院によって、重点取り組み事項を変えることが必要ではないかと。
- ・重点取り組み事項(2) 研究について、組織や機能のあり方を点検・見直しするとしているが、具体的な取り組みを記載することが、第3期中期目標へ向けて、取り組むべきことが明確になるのではないかと。また、教員の時間確保についても具体的な案を学内外に示すべきではないかと。

(2) 第3期中期計画コンセプトについて

事務局から、第3期中期計画コンセプトについて説明があり、原案について承認された。

〈主な意見等〉

- ・キャンパスの脱炭素化について時期を決めて取り組むことになるかと思うが、既に考えがあれば教えてほしい。
→開学当初から太陽光パネルでの発電等取り組んできている。今後も費用と効果を考えながら取り組み計画を立てていく予定である。
- ・中山間地の過疎化に対する対応について、大学で取り組んでいることをコンセプトに取り込んではどうか。環境大学の強みや特色を出すことにつながるのではないかと。

3 報告事項

(1) 令和4年度第3回予算補正について

事務局から、令和4年度第3回予算補正について報告があった。

(2) 令和3年度業務実績評価書および第2期中期目標期間に係る業務実績（見込）評価書について

事務局から、令和3年度業務実績評価書および第2期中期目標期間に係る業務実績（見込）評価書について報告があった。

〈主な意見等〉

- ・ 県内就職率の向上について各所関係機関と連携していると聞いてはいるが、具体的な取り組みを示して調整を行った方がよいのではないかと。
- ・ リカレント教育の導入について、実現することができれば企業が取り組んでいる業務のDX化促進につながり、鳥取県内の経済界にとってもよい影響があるほか、大学にとっても存在価値が今まで以上に高まるのではないかと。
- ・ 指摘事項等に記載されている県内入学者の積み増しについて、境港総合技術高校と連携しながら海洋研究や他の高校との探求活動など、具体的な取り組みをPRすることにより、高校生などに身近な地元大学であることが伝わるのではないかと。

(3) 近況報告について

事務局から、近況について報告があった。

4 閉会